

令和5年11月22日 定例教育委員会 会議録	
1 開催日時及び場所	
	・令和5年11月22日（水） 10時30分 ～ 11時40分
	・1701会議室
2 出席者	
教育長	堀 貴 雄
	事務局職員
委員	竹 中 裕 紀
	副教育長 富 田 剛
委員	野 原 正 美
	参与兼義務教育総括監 香 田 静 夫
委員	村 上 啓 雄
	教育次長 中 川 敬 三
委員	打 江 記 代
	教育総務課長 関 谷 英 治
	教育総務課教育主管 秋 場 毅
	教育総務課教育主管 星 野 健
	義務教育課長 青 木 孝 憲
	義務教育課教育主管 浅 井 孝 彦
	高校教育課長 中 村 有 希
	高校教育課教員人事管理監 高 橋 範 行
	特別支援教育課長 高 井 深 雪
	教育研修課長 棚 橋 武 司
	教育管理課長 嶋 崎 敏 幸
	教育財務課長 清 水 浩 二
	教育財務課教育施設整備監 岩 田 泰
3 議事日程等	
	報第1号、議第1号、議第2号、事務局報告（政策）（1）について、非公開とすることを決定
4 会議録	
	令和5年10月23日開催の定例教育委員会の会議録を承認
5 審議の概要	
	別添のとおり

会 議 録

発 言 者	発 言 内 容
事務局報告（その他）(1) 岐阜県における全国レベルの表彰について	
教 育 総 務 課 長	<p>令和 5 年度学校保健及び学校安全表彰において、恵那市立武並小学校が、文部科学大臣から学校安全の功労校として表彰された。</p> <p>武並小学校では、「自分の命を守る」「主体的に行動する」児童の育成を柱に、平成 24 年度から、在学中の 6 年間で系統立てた防災教育の実践を継続的に行ってきた。今回、地域の消防団や防災研究会などの組織と連携を図りながら、防災に対する考え方を深化させていく探究的な学びが、防災教育の先進的な取組みとして評価された。</p>
竹 中 委 員	<p>「平成 24 年度から、在学中の 6 年間で系統立てた防災教育の実践を継続的に行ってきた。」とあるが、管理職が変更しても継続して取り組むことができたのはどうしてか。</p>
教 育 総 務 課 長	<p>恵那市立武並小学校では、地域と学校が連携した「地域防災スクール」をカリキュラムに位置付け、日々の学習活動で取り組んでいる。こうした取組みを引き継いでいくことによって、6 年間を通した系統立てた防災教育を実現している。なお、カリキュラム終了後に「子ども防災士」という資格を付与し、地域の担い手の育成に取り組んでいる。</p>
事務局報告（その他）(2) 令和 5 年度教育委員行事予定表について	
教 育 総 務 課 長	<p>加除修正をした部分は大きく 2 点ある。</p> <p>1 つ目は、1 月 5 日から 15 日にかけて実施する「小・中学校管理職・主幹教諭 2 次選考試験」である。9 日午後は野原委員に、10 日午後は村上委員に、12 日午前は竹中委員に、15 日午前は市川委員に、午後は、打江委員にそれぞれ試験官としてご出席いただく。場所はいずれも総合教育センターとなる。</p> <p>2 つ目は、1 月 19 日に開催予定の都道府県・指定都市教育委員研究協議会についてである。この協議会には、従来、新任の教育委員に参加していただいている。今年度は打江委員に出席していただく。</p> <p>なお、各行事とも、期日が近くなったら、詳細について担当課より別途案内する。</p>
報第 1 号 教育に関する事務に係る議案に対する意見について	
<p>教育に関する事務に係る議案に対する意見について諮り、承認された。</p> <p>本件は、非公開案件であるため、会議録は別途作成。</p>	
事務局報告（政策）(1) 岐山高等学校北舎建築工事の請負契約について	
<p>本件は、非公開案件であるため、会議録は別途作成。</p>	
議第 1 号 令和 6 年度 教職員人事異動方針について	
<p>令和 6 年度 教職員人事異動方針について諮り、可決された。</p> <p>本件は、非公開案件であるため、会議録は別途作成。</p>	

議第 2 号 教職員の懲戒処分について	
<p>教職員の懲戒処分について諮り、可決された。</p> <p>本件は、非公開案件であるため、会議録は別途作成。</p>	
その他	
村上委員	<p>草潤中学校を視察したが、先生方は生徒に寄り添い、きめ細やかな指導をなさっていた。こうした教育をすべての学校で実現できれば、不登校児童生徒にとってよりよい学びにつながっていくと思う。</p>
野原委員	<p>東海北陸ブロック教育委員全員協議会でご講演いただいた中村課長のお話を拝聴し、改定後の教育委員会制度を改めて理解することができた。教育大綱との関係性や総合教育会議の位置付けなどを理解した上で教育振興基本計画等について考えていくことの大切さを改めて実感した。</p>
竹中委員	<p>昨日、大垣特別支援学校の創立 50 周年式典に参加した。当校は現在 290 人の生徒を受け入れ、一人一人の特性に応じた個別最適な指導を実現している。また、卒業後の進路に向けて、各企業や社会とのつながりを構築している。こうした取組みや仕組みは大変素晴らしいと感じた。</p>
打江委員	<p>先日、飛騨地区校長会が本社を視察された。進路、特別支援教育、研修、管理、運営など、校長先生方の目的に応じて対応させていただいた。</p>
閉会	
<p>11 時 40 分、閉会を宣言する。</p>	